海気通信

発行

千葉市民ギャラリー・いなげ
〒263-0034
千葉市稲毛区稲毛 1-8-35
TEL: 043-248-8723
FAX: 043-242-0729
http://business4.plala.or.jp/g-inage/

7 号
2015 / 7 /

潮風（しおかぜ）

海水浴で賑わった時代からの歴史ある商店街です。「夜灯」など魅力あるイベントが注目されています。

浅間神社　清風（せいふう）

稲毛の鎮守様。大同 8 年（西暦 808 年）富士浅間神社から勧請されたと伝えられる由緒ある神社です。氏子が山を築きました。

千蔵院　薫風（くんぷう）

千手寺と南蔵院という二つの古いお寺が 1909 年（明治 42 年）合併してできました。浅間神社とともに稲毛の信仰の中心です。

病院坂　涼風（すずかぜ）

1939 年額田晋氏（東邦大学創立者）によって設立された額田医学生物学研究所と附属病院への坂道です。当時は清らかな海風が通り抜け、難病だった結核患者の心をいやしたと思われます。

かってに いなげ八景候補 選んでみました

千葉トヨペット　若夏（わかなつ）

1899 年日本勧業銀行本店として新築、その後谷津遊園「楽天府」（食堂）、千葉市役所などとして移築され現在も企業の本社として使われています。設計者の妻木頼黄は明治建築界を代表する巨匠です。国の登録有形文化財。

海食崖　晴嵐（せいらん）

国道 14 号線左手、稲毛から登戸にかけて所謂海岸段丘が続きます。かつては、この丘の上にたくさんの別荘がありました。避暑地だったころの雰囲気があるかな？

根上がりの松　春陰（しゅんいん）

かつて稲毛の松林は「関東の須磨」と称えられていました。松の根が露出している巨木も見られます。

民間航空発祥の地の碑　跡雲（せきうん）

1912 年、民間飛行機研究家奈良原三次は干潮時に砂が固く締まる稲毛海岸に飛行場を開設しました。9 メートルの碑の上に飛行機雲が残りました。

磯馴れ松　夕立（そな　ゆうだち）

潮風のために傾いた松を磯馴れ松と言うそうです。須磨に蟄居した在原行平が愛する人と別れた場所に植えた松が有名ですが、ギャラリー・いなげ庭園の松も素敵です。

京成稲毛うら通り　夜風（よかぜ）

京成稲毛駅を降りてすぐに目に留まる「京成稲毛うら通り」というネオン・・期待に胸を弾ませると静かな住宅街が広がります。昔は劇場もあったとか。

ゆかりの家　夕照（ゆうしょう）

旧神谷別荘とともに、海の記憶を伝える貴重な遺構です。ラストエンペラー溥儀の弟溥傑が新婚生活をここで過ごしました。

旧神谷別荘　暮雪（ぼせつ）

国道に面した高台に建つ洋館です。明治・大正の実業家で、日本のワイン王と言われた神谷伝兵衛氏の別荘です。1918 年の建築で、しっかりした洋風建築の基礎の上に当時流行の意匠が施されています。設計者の謎解きなど興味が尽きない建物です。国の登録有形文化財に指定されています。

秋月（あきづき）

昔、新月の夜にカンテラの灯りで漁をした「よとぼし漁」を再現したお祭りです。街中が灯りで満たされます。